

1 単元名 第2部 世界のさまざまな地域 第2章 世界の諸地域 第2節 ヨーロッパ州
「社会科 中学生の地理」(帝国書院)

2 校内研究との関わりについて ※令和のやまなし教育活動モデル推進事業

研究主題 「個別最適な学びと協働的な学びで、主体的に学習する生徒を育成する」
～組織でWEBQU等を活用した学級の安定と活性化を通して～

(1) 標準化検査 WEBQU等を活用して組織で「安定と活性化」を両立する学級集団づくりを実現する
・班の3つの機能で安定をつくる (①居場所 ②目標を達成する組織 ③非認知能力育成)

(2) 単元を貫く言語活動でめあてを達成し、主体性・活性化を向上する
・個別最適な学びと協働的な学び (※生徒の多様性を認め、尊重する単元内自由進度学習)
→①動機付け ② 学習方法 ③ 自己調整・粘り強さ
※エビデンスを活用した単元内自由進度学習でめあてを達成し、主体性・活性化を向上する。
(学習の個性化・指導の個別化)

- ・「学習キャリアパスポート(GKP)」の活用
- ・教研式 認知能力検査 NINO、標準学力検査 NRT を活用
- ・教職員の合理的配慮を一元化した「座席表」活用 (WEBQU、NINO、NRT のデータ)
- ・協働的な学び (※現状を変え未来を創り出す力)
→① 目標達成のための交流 ② 違いを追求し、学びを広げ ③ 深め・創造する

(1) WEBQU のデータを活用する ※生徒・学級の実態 (WEBQU 令和6年5月27日実施)
学級生活満足群に100%の生徒がプロット

- ①学級の型 少人数特別学級
- ②集団の発達段階 ①緊張・混沌→②小集団→③中集団→④大集団→⑤親和的集団
- ③ルールの定着 ⑤内在化 4 半数以上にルールが共有・定着 3 教師の指示で行動
2 指示通らない
- ④リレーション ⑤親和的 4 仲間の輪が広がる 3 小グループに閉じる
2 グループ内トラブル
- ⑤安定度 ⑤安定化 4 固定化 3 流動化 2 不安定化 1 混沌化
- ⑥活性度 ⑤創造的 4 活用的 3 遂行的 2 停滞的 1 不履行
- ⑦学級集団における優先事項

承認…生徒同士の配慮と関わりを心掛け、面談や観察を通して一人一人の認知を聞き取り、「本人が実践する場面」「他者から認められる場面」「本人が振り返る場面」を設定し、承認感を高められるように全職員で協働して指導や支援を行っている。

被侵害…話し合い活動のルールは定着している。毎日の話し合い学活や協働学習を通して、不安や緊張感なく発言できるように段階的な学習を仕組んでいる。

(個人の考えを形成→班や適したペア・グループで交流→全体で交流)

学習意欲…意欲においては個人差がある。個人で設定した課題を達成するために、これまでの学びと関連させながら学習計画を立て、学習を進めていく。学習キャリアパスポートを活用(①動機付け ② 学習方法 ③ 自己調整・粘り強さ)しながら意欲を向上させる。

学習方略…課題解決のために適した(NRT・NINO・WEBQU 等のエビデンスを基に)他者と言語活動を行い、協働しながら知識を定着させ、一人一人の思考力・判断力を向上させる工夫をする。

(2) 「班活動」における日常的な取り組み

安定した学級・班でなければ自分の考えを自由に表現し、教科の目指した目標を達成することは非常に困難である。生徒が互いに尊重し、考えを認め合える学級集団づくりが必要となる。WEBQUの目指す複線型の関係性を構築するため、班には3つの機能を取り入れている。

① 一人一人の居場所づくり

WEBQUを活用して生徒一人一人の認知を把握し、面談を行う。どのようなことに支援を欲しているか、どのような配慮が必要なのかを全職員で共有し、関わりや配慮の方法を支援・検討し協働実践する。また、定期的(短期)に学級満足度調査を実施し、班に居場所があるかどうか認知の確認を行っている。

② 目標を達成する組織として機能させる

学級集団が多様性を認め合い目標を達成する公共的な組織集団になることを目指している。生徒たちが自分たちの課題を自分たちで見だし、解決する。課題の達成後は、班員を少しずつ変える、班長を変える、生徒同士をゆるくつなぐ交流を増やす。これにより、人間関係が私的な関わりで固定されないようにする。

③ 非認知能力を育成する

「居場所」「組織」として機能させる取り組みを通して、生徒が互いの個性を認め合える関係づくりや本音の感情交流によって、公的に誰とでも関われる人間関係を構築する。

(3) 学習における生徒の実態

本学級の生徒はNINOの結果より、思考力の高い生徒が多いため他者と協働する際に、関連付けて内容理解に努める姿が見られる。それでもわからない場合も諦めずに粘り強く取り組む姿勢を持っている。さらに言語能力の高い生徒も多く、思考力を用いて理解した言葉を説明する際に、わかりやすい言葉に変換して他者に伝えることができる。一方で、記憶力も低いため既習内容については全体で確認すべき場面も必要とする。言語能力が高いため、記憶力に訴えかける方法に、説明やワーク等の問題演習や実践だけでなく、動画や音声など視覚や聴覚に訴える方法などを加え、記憶力を補っていききたい。

(4) NINOのデータを活用する ◎強みの活かし方 △課題の補い方

① 記憶力

◎ 既習の知識を思い出す … 気候帯の特徴(雨温図:気温・降水量)

◎ 既習の知識を活かす … 気候の特徴(農業)、アジア州の産業

△ 他者に説明してみる。(△全体で確認する)

② 言語能力

◎ 他者に説明する時、伝わりやすい表現になるように工夫する。

◎ 振り返り(学習キャリアパスポート活用)の場面で、本時の学習について、重要語句を適切に用いてまとめたりわかりやすい語句に言い換えながらまとめたりする。

△ わからない言葉・難しい言葉に出会ったら調べる・聞く。

③ 数的能力

- ◎ 雨温図やグラフ・表から正しく読み取る。
- ◎ 残り時間とやるべきことを計算して取り組む。
- △ わからなくなったところ、苦手なところまで戻って学習する。

④ 処理速度

- ◎ 説明したり、問題を解いたりするのに時間がかかる他者を手伝う。
- ◎ 本文やグラフ等のたくさんの資料を読み取ったりまとめたりする。
- △ 学習に必要な準備を先に済ませておく。

⑤ 思考力

- ◎ 資料(図・表・グラフ等)から読み取ったことを基に、比較・分析しながら背景や課題について考察する。
- ◎ 既習の学習内容と関連付けて考える。
- △ 内容がわかりにくい時は、図や表、イラストを使って考える。
- △ 具体例と結び付けて考える。
- △ 他者の意見を参考にして、自分の学習内容の理解に反映する。
→ 他者から得たヒントを基に取り組み、考える。

3 単元構成・及び教材について

世界の様々な地域に関する学習は、小学校社会科では第6学年の内容(3)グローバル化する世界と日本の役割で扱われている。

本単元では、地理的分野のヨーロッパ州の学習を通して、「ヨーロッパ州では、国どうしの結び付きが強まることによって、地域にどのような影響が生じているのか。」という単元を貫く課題を設定した。この課題を解決するために、まず自然環境について学習することでヨーロッパ州について大観させる。その後は、生徒たちが授業プリントを活用して自ら学びを進めていく。文化、産業についての学びではヨーロッパ州の国々の多様な地域的特色について理解させる。EU統合の成果・課題についての学習では資料を基にして、その背景に着目しながら考察させる。探究過程において、ヨーロッパ州の国々が地域としてつながりを強めていく一方で、その地域統合には成果と課題の両面に着目させ、その成果と課題によってEU内での人々の生活に変化が生じていることに気づかせたい。

○本単元で扱う学習指導要領の内容

地理的分野 B「世界の様々な地域」

(2) 世界の諸地域

次の①～⑥までの各州を取り上げ、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追求したり解決したりする活動を通して、以下のア及びイの事項を身に付けることができるように指導する。

- ① アジア ② ヨーロッパ ③ アフリカ
- ④ 北アメリカ ⑤ 南アメリカ ⑥ オセアニア

ア 次のような知識を身に付けること

(ア) 世界各地で顕在化している地球的課題は、それらが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解すること。

(イ) ①から⑥までの世界の各州に暮らす人々の生活を基に、各州の地域的特色を大観し理解すること。

イ 次のような思考力、判断力・表現力等を身に付けること

(ア) ①から⑥までの世界の各州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現すること。

4 単元目標

- (1)ヨーロッパ州の地域的特色を自然環境、文化、産業の特色に着目して大観し、自然環境や文化にみられるヨーロッパの共通性と多様性を理解している。[知識及び技能]
- (2)国どうしや他地域との結び付きに着目して、EU 統合の背景と課題、人々の生活に与える影響などについて、ヨーロッパ州の地域的特色と関連付けて、多面的・多角的に考察し、表現している。
[思考力、判断力、表現力等]
- (3)日本との比較を交えながら、ヨーロッパ州の人々の生活に関心をもち、地域的特色及び EU 統合や文化の多様性に関わる課題を主体的に追究しようとしている。[学びに向かう力、人間性等]

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自然環境や文化の視点を持ち、ヨーロッパ州の共通性と多様性の特色のキーワードを適切に理解している。	資料から読み取ったことをもとに EU 統合による影響について、多面的・多角的に考えることができる。	学習活動を自己調整し、学習内容にあった学び方を自ら考えながら取り組み、学習キャリアパスポート(GKP)で本時の学びを振り返ることができる。

6 指導と評価の計画（学習指導時間 7時間）

単元を貫く課題「ヨーロッパ州では、国どうしの結び付きが強まることによって、地域にどのような影響が生じているのか。」

時	■ねらい 数字：学習内容 ◆学習形態	○指導上の留意点	評価の観点		
			知	思	態
第一時	■単元の見通しを持ち、これまでの自己の学びや特性を生かしながら学習計画及び、自分なりの課題設定を行う。	○単元の目標を理解し、見通しをもてるようにする。 ○WEBQU や NINO の結果やこれまでの自分の学びの過程を基に、自分なりの学習計画を立てさせる。			○
	◆個別 1 学習計画の作成をする。				
第二時	■ヨーロッパ州の地形や気候の特色について理解する。	○教科書・資料集・地図帳(教材は生徒に選択)させ位置的な把握をさせる。	○	○	
	◆個別・協働 1 ヨーロッパ州の地形を教科書や副教材を活用して調べる。				

	2 ヨーロッパ州の気候の特色を雨温図から読み取る。	○雨温図からわかる気温と降水量に着目させ、既習事項と関連付けて特色を読み取らせる。			
第三時	<p>第三時～第六時に取り組む小単元のねらい</p> <p>■ヨーロッパの文化の共通性や多様性について理解する。</p> <p>■ヨーロッパの国々の結び付きについて理解し、その課題について考察する。</p> <p>■ヨーロッパの農業の特色について理解し、EU統合の影響による変化について考察する。</p> <p>■ヨーロッパの工業の特色について理解し、EU統合の影響による変化について考察する。</p>				
第四時 (本時)	◆個別・協働 ※单元内自由進度学習のため生徒自身の進度によって、取り組む单元が異なる。	○基本的には NINO を生かした生徒同士の対話による協働をさせる。			
第五時	1 ヨーロッパ州の宗教と言語について分布図を基に共通性と多様性を考察する。	○資料の読み取る視点を与え、抑えるべきポイントに気づかせる。			
第六時	2 EU 統合の背景について理解する。 3 EU 統合のメリットについて資料やグラフを基に考察する。 4 EU 統合のデメリットについて資料から読み取り考察する。 5 ヨーロッパ州の農業の特色について、地形や気候と関連付けて考える。 6 EU の目指す農業について理解する。 7 EU の工業の特色について資料から読み取り、考察する。	○教科書本文からわかる内容について理解したことを自分の言葉で他者へ説明させる。 ○メリット・デメリットを図や表にまとめて整理させる。 ○既習事項と関連付けて考えさせる。 ○産業の視点から、EU のメリット・デメリットに着目させる。	○	○	
第七時	<p>■单元を貫く課題に着目しながら、本単元の学びと探究の過程を振り返る。</p> <p>◆協働・一斉</p> <p>1 全体で協働しながら本単元の学習内容について確認する。</p>		○各自の学習の中で、つまづいた内容や疑問に思ったこと、難しく感じたことについて共有させ、協働しながら解決させる。		○

7 本時指導と評価の計画 (全7時間中の第四時)

(1)本時の目標

ヨーロッパ州では、国どうしの結び付きが強まることによって、地域にどのような影響が生じているのかを資料を基に考察し、他者へ説明したりまとめたりする活動を通して理解を深める。

(2)本時の展開

過程	学習のねらいと学習活動	教師の指導・支援	評価・備考
導入	<p>1 単元を貫く課題について確認する。</p> <p>【単元を貫く課題】 ヨーロッパ州では、国どうしの結び付きが強まることによって、地域にどのような影響が生じているのか。</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> ・本時に生徒が自分の取り組む単元について確認する。 ・学習キャリアパスポート(GKP)を活用して本時の学習目標を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・困難な生徒には机間指導でNINOを活用した支援を行う。 ・学習キャリアパスポート(GKP)を活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習形態 個別
展開	<p>2 事前に配布されている授業プリントに沿って自由進度学習を行う。</p> <p>①教科書の本文や資料から学習に必要な用語や要素を選ぶ。</p> <p>②資料集を活用し、グラフや表から学習に必要な用語や要素を選ぶ。</p> <p>③地図帳を活用し、空間的な位置把握を行う。統計資料等を活用する。</p> <p>④ICTを活用し、必要な情報を得る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・①～③の活動の生徒に対して、ヒントや視点を示したり、協働の場を提案したりする。 ・④の活動の生徒は、情報の正確さについて適切かどうか確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習形態 個別 協働 【知・技】 資料等を適切に活用し、用語や出来事の背景を理解している。 【思、判、表】 他者へポイントを示しながら説明したりまとめた内容を共有したりしている。
まとめ	<p>3 学びの過程を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習キャリアパスポート(GKP)を記入し、本時の学習を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時に得た学びについて、キーワードを用いたり、他者との協働で得た視点などを踏まえた振り返りができるよう指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習形態 個別 【主】 自己の学習を振り返り、次時に生かそうとしている。

※学習キャリアパスポート・NINOを活用した評価と指導をする。

8 資料

- (1) 学習キャリアパスポート(別紙)
- (2) 事前学習「教科書キーワード抜きスライド」(別紙)
- (3) 事後学習「ポートフォリオ」(別紙)

(1) 学習キャリアパスポート(別紙)

【 社会科 】 単元名：第2部 第2章 第2節 ヨーロッパ州 NINO：◎ ○ △ 氏名

この単元で 身につけるべき力 ()内は、その場面で 特に必要となる認知能力	知識・技能	ヨーロッパ州の地域的特色を自然環境、文化、産業の特色に着目(言語能力・思考力)して大観し、自然環境や文化にみられるヨーロッパの共通性と多様性を理解(記憶力・思考力)している。	・自然環境や文化の視点を持ち、ヨーロッパ州の共通性と多様性の特徴のキーワードを適切に理解している。→ A: 資料から読み取れたことと関連付けて理解できる。
	思考・判断・表現	国どうしや他地域との結び付きに着目(数的能力・処理速度)して、EU 統合の背景と課題、人々の生活に与える影響(記憶力・思考力)などについて、ヨーロッパ州の地域的特色と関連付けて、多面的・多角的に考察(記憶力・思考力)し、表現している(言語能力)。	・資料から読み取ったことをもとにEU 統合による影響について、多面的・多角的に考えることができる。→ A: 影響の良さ悪さを判断し整理しながら表現(説明・ポートフォリオのまとめが)できる
過去の単元の 成果と課題を活かす	主体的に取り組む態度	日本との比較を文えながら、ヨーロッパ州の人々の生活に関心をもち、地域的特色及びEU 統合や文化の多様性に関する課題を主体的に追究しようとしている。	・学習活動を自己調整し、学習内容にあった学び方を自ら考えながら取り組み、GKPで本時の学びを振り返ることができている。
	知・技	良さ	課題
	思・判・表	良さ	課題
	主体的	良さ	課題

単元を貫く学習課題 「ヨーロッパ州では、国どうしの結び付きが強まることによって、地域にどのような影響が生じているのか」

	1 (/) ※ガイダンス	2 (/)	3 (/)	4 (/)	5 (/)	6 (/)	7 (/) ※まとめ
学習の見通し	地形・気候の特色は？ 宗派と言語の共通性・多様性は？ EU 統合の背景は？ EU 統合のメリットは？ ヨーロッパの農業とEUの関連性って？ ヨーロッパの工業とEUの関連性って？						
学習活動(例) (私の) 課題設定							
学習計画							
目標についての 振り返り							

学習キャリアパスポートの提出

保護者印

(2) 事前学習「教科書キーワード抜きスライド」(別紙)

* 生徒はその日扱う単元の重要語句を「★付箋の色分けのルール(スライド9枚目)」に従って色分けをします。

2-2-2.ヨーロッパ州

1

ヨーロッパ州 学習 視点

ヨーロッパ州

結びつき

国 → 地域

2

学習 方法 どうやる？

ひとりで

先生と

友だちと

ひとりで読んだり
聞いたり

3

①教科書のキーワードを付箋に書き出す

教科書のキーワードや太字を抜粋しスライドのテキストボックスに入力しよう！

第○節内のすべてに目を通そう！！集中して読みながら、内容を頭の中で理解しよう。節の問いを意識して、読み進めると内容がわかりやすいよ。

節の中の単元
すべてやるよ！

4

②付箋を視点に従って分類する

スライドのテキストボックスにタイトルを付け関連するものどうしを、まとめてくっつけたりしよう！！

関連するものの付箋の色を同じにしてみたり、テキストボックスを使って、タイトル関連する項目を入れてみたり手書きで線を引いて区別したりまとめてみたりするとわかりやすいよ。

パッと見て
わかりやすい
まとめ方を！！

5

③授業プリントの穴埋めを完成させる

スライドのテキストボックスを参考に、教科書や資料集も見ながらプリントを完成させよう！

ここでは「ひとりで集中してやる」「先生と一緒に確認しながらやる」「友だちと相談しながらやる」のうち自分にあったやり方でそれぞれが取り組んでもらいたいな。

自分に合った
やり方で
学習を進めて！

6

④授業プリントを見ながら分析

今度は穴埋めして内容が整理できたプリントを見てスライドに付け加えよう！！

特に付け加えることがなければ、何もしないで大丈夫。自分が最初に分類したスライドのページをコピーして残しもう一枚にポイントを加えてみると授業の中での変化がわかるよね。

もう一度見直す
ことも学習を
深めるうえでは
大事なこと！

7

⑤ポートフォリオの作成

友だちと確認したり、先生と確認したりしながら、その節のポートフォリオを作成しよう！！

自分が理解したことを、自分のまとめ方で整理してみよう。プリントや教科書を写すのではなく、資料を使ったり、グラフを使ったりいろいろな表現の仕方でもまとめることができれば最高！！

ポートフォリオは
ポイントが
わかった状態で！

8

★付箋の色分け

次のルールにしたがって、付箋の色を使い分けよう！！

自然環境 変化(内帯) 背景 比較内容 その他(用語等)

★地理のポイント★
【わかることを資料や文章から読み取ろう】

①グラフは変化の「背景」と「この後の変容の予想」をしよう！
②表は比較して「共通点」や「相違点」はなに？その背景は？
③問題文や説明文では何を問われているのか？
→何を明確にして解答すれば良いか(=視点を明確に！)

9

1. ヨーロッパ州の自然環境

■ ■ ■ ■ ■

10

2. ヨーロッパ文化の共通性と多様性

■ ■ ■ ■ ■

11

3. EUの成り立ちとその影響

■ ■ ■ ■ ■

12

4. ヨーロッパの農業とEUの影響

■ ■ ■ ■ ■

13

5. ヨーロッパの工業とEUの影響

■ ■ ■ ■ ■

14

6. EUが抱える課題

■ ■ ■ ■ ■

15



(3) 事後学習「ポートフォリオ」(別紙)

<p>やり方 地理でも歴史でも公民でも同じように！！</p> <ol style="list-style-type: none">①スライドのファイル名に必ず番号・名前を入れよう！②教科書に書かれた「節の問い」を確認しよう！③「節の問い」に沿った読みができるよう、これまでの授業プリントなどを見直しながら、自分なりにまとめてみよう！(説明部分のスライド最低2ページ)④最後に社会科のclassroomに提出しよう！ <p>★テスト前には復習としてそのスライドを活用しよう！</p>	<p>ex: ○○○が××となった背景 以下、授業内容や必要であれば調べたことを踏まえてまとめ。 (まとめの方法) ・写真や画像(授業プリント)の写真そのままは× ・図形を用いた仕組み図</p> <p>※文章だけでまとめることのないようにしましょう！ スライド2ページ以上で！！</p>	<p>【单元名】</p> <p>「 」</p> <p>年 番</p>
<p>「 節の問い」 」</p>	<p>5</p>	<p>3</p>